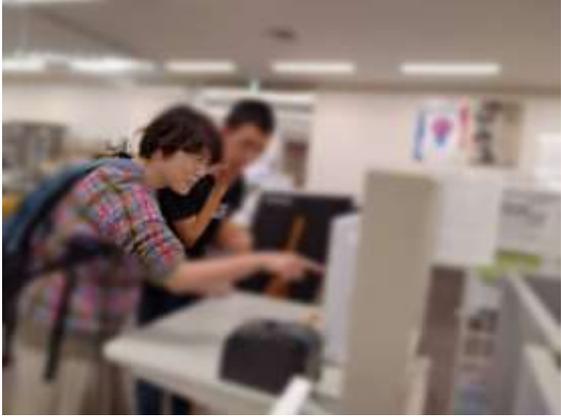


## ミュージアム・インクルージョン・プロジェクト訪問記録

<p>県立図書館</p>	
<p>カテゴリー： 図書館</p>	
<p>所在地： 明石市明石公園1-27</p>	
<p>調査隊：神大附属特別支援学校 PTA (訪問日： 2023.11.5 )</p>	
<p>障害種別： 知的障害</p>	
<p>プロジェクト参加への動機：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家や障害のある方など色々な方に使ってもらえる図書館にしたい</li> <li>・図書館のルールに沿って参加していただけるとよいが、色々な障害の方にどう対応していったらよいか困っている</li> </ul>	
<p>PRしたいところ：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書数が多い</li> <li>・専門的な本が多い</li> <li>・新聞は明治時代からのものがある</li> <li>・期間限定で5つの展示をしている(調査日現在) <ul style="list-style-type: none"> <li>「大阪・関西」万博開催まで 500 日</li> <li>絵葉書で迎える明治・大正・昭和</li> <li>ノーベル賞関連展示</li> <li>古代の山陽道</li> <li>姫路城の世界文化遺産登録 30 周年</li> </ul> </li> </ul>	
<p>特別な配慮を必要とする人(高齢者・障害者・外国人など)向けのプログラム・配布物がありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者向け講座：スマホ講座／遺言の書き方講座／相続税についての講座</li> <li>・子ども向け講座：夏休み期間に図書館夏祭り(劇団公演・標本展示・高校生の読み聞かせ) <ul style="list-style-type: none"> <li>しょくぶつ探検(人と自然の博物館から講師を招いて)</li> </ul> </li> <li>・車で来館者には近くのコインパーキングを案内している</li> </ul>	
<p>障害者への対応をしていることはありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的障害(自閉?)の方への声かけ <ul style="list-style-type: none"> <li>ジェスチャーや文字などで伝える</li> <li>閉館時間を知らせる時計の絵などを用意している</li> </ul> </li> <li>・弱視の方向けに拡大器を設置している</li> </ul>	

障害のある人が来館されて、困ったこと／どうしていいかわからなかったことはありますか？

- ・よく来館される方(障害者)の対応に困っている
  - ・館内で声を出されるので他の利用者からの苦情がある
  - ・閉館時間になっても帰らない
  - ・保護者にも障害があり対応ができない
  - ・最終的に警察を呼んで帰ってもらうことも頻回
  - ・日中通っているところも無さそう、市役所福祉課でも対応できない

## 調査報告

よかった点 (いいな、と感じた点)

- ・靴を脱いでリラックスして絵本が読めるコーナー
- ・たくさんのジャンルの蔵書があって興味深い
- ・通路・書棚間のスペースや幅が広くて通りやすい

調査隊が「こうすればもっと楽しめる」と感じた点

- (館としての考えられる対応策→)
- (A)すぐにやれそうなのでやってみよう
  - (B)色々な内容を精査して中期的に計画しよう
  - (C)長期的に検討課題としよう
  - (D)対応が難しい・できない

## プログラム

- ・障害者でも参加しやすいイベントを開催する
  - ・学校／就労系福祉事業所／区市／明石公園と連携協働した催し物を開催
- (A)

## 展示

- ・絵本・写真集を自分の生活に身近なエピソードやテーマで扱ったコーナーがあると興味を持ってみる事ができる
  - ・絵本コーナーに「マンガ名作」の本があったので、名作のコミック本を置いてはどうか？
- (D)
- ・イラスト／絵画／デザイン／アート系の本をうまく見せることで知的障害者の「知」へのアクセスの入り口として五感からという視点から模索してはどうか
- (C)

### 施設

- ・ピクトグラムや絵／イラストを使って場所のわかりにくさを解消して欲しい  
→(B)
- ・福祉系／教育系の団体にスペースを貸して、多様な利用者に来館してもらう
- ・絵本室の前の靴脱ぎスペースに段差のあるすのこが設置されており、靴の脱着の際に転びそうになる。段差のないバリアフリーに変更するか、安全に脱着できる椅子があるとありがたい  
→(A)
- ・とても静かなので本を探すときも話すのが難しい印象だった。静かに本を読みたい人勉強したい人のためのスペース、多少お喋りをしてもいいスペースがあると静かにすることがニガテな人も利用しやすいと思う

### 受け入れ体制

- ・知的障害者にもわかりやすいイラスト&ふりがな付きの館内ルールを掲示  
→(B)
- ・知的障害者の特性や行動を一般利用者に理解してもらえるようなポスターを掲示して欲しい

### その他

- ・駐車場から入り口までの通路が暗く、凸凹があり狭い。車椅子の人には厳しいかも？  
→(D)
- ・駅から距離があるため、案内板がもう少しあるといい  
→(D)

## ★プロジェクトに参加して

### 調査隊の感想

- ・知的障害者が図書館を利用しているものか、迷惑にならないかと気になっていたが、このような取り組みに参加されていることを知り、利用してもいいのだと安心できた
- ・図書館の職員さんと意見交換できる機会があった
- ・障害がある人が迷惑をかけることがあれば遠慮なく警察を呼んで欲しい。何度も警察に叱られることで学習することもあると思う

### 施設の感想(気づきや発見)

- ・様々な障害者に関する研修などを行い、その方々に提供できるサービスを検討していきたい